

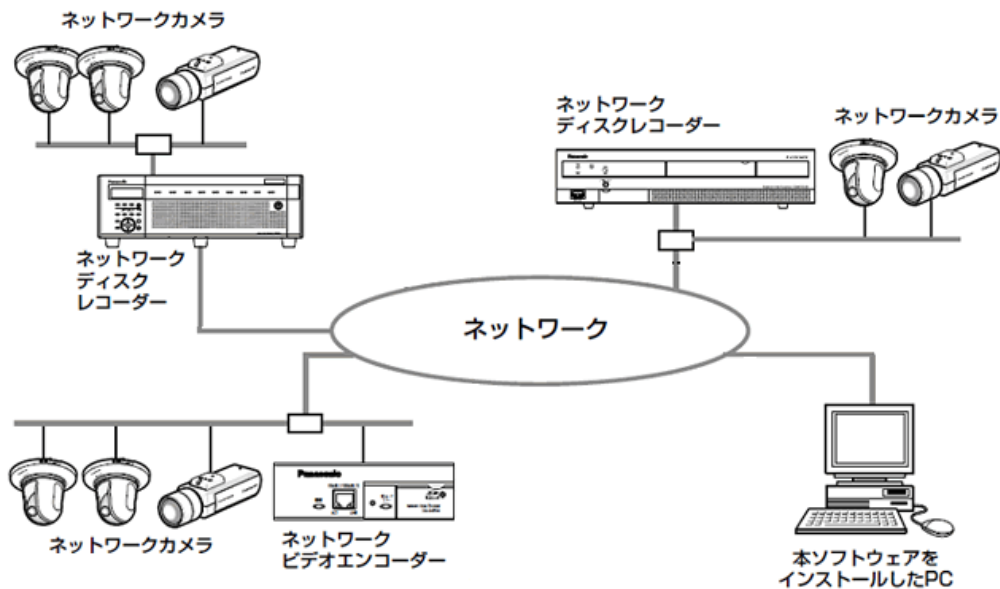
i-PRO システム 設定ツール 取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

概要

i-PRO システム 設定ツール（以下、本ソフトウェア）は、ネットワークディスクレコーダー、（以下、レコーダー）および、ネットワークカメラ（以下、カメラ）、ネットワークインターフェースユニット（以下、エンコーダー）の各種設定をパーソナルコンピュータ（以下、PC）からネットワークを経由して行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアはシステム設計やネットワーク管理をされているお客様がご利用されることを前提としています。対応機種については、別紙「機器別設定項目一覧(PDF ファイル)」をご確認ください。

システム構成図



取扱説明書について

本書では、本ソフトウェアのインストールのしかたと各機器の設定方法を説明します。

本書では Microsoft® Windows® 7 Professional 時点での画面を例に説明しています。ほかの OS をご使用の場合や OS の設定によっては、画面表示が異なる場合があります。その他の OS をご使用の場合、該当する OS の取扱説明書をお読みください。また、本書に記載の画面については、説明に支障のない範囲で以前のバージョンの表示画面を記載している場合があります。

PDF マニュアルをご覧になるには、アドビシステムズ社の Adobe® Reader® 日本語版が必要です。PC に Adobe® Reader® 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新の Adobe® Reader® 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

必要な PC の環境

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCで使用できます。

メモ

- 本ソフトウェアを動作させるには、Microsoft® .NET Framework 4.6が必要です。

.....

OS ^{*1}	Microsoft® Windows® 10 Pro 32ビット日本語版 ^{*3} Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット日本語版 ^{*2,*3} Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版 ^{*2}
CPU	Intel® Core™ i5 2.5 GHz以上推奨
メモリー	1 GB以上
ハードディスク容量	本ソフトウェアのインストール用として50MBの容量が必要です。 本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 4.6と Microsoft® Visual Studio 2013 Visual C++ 再頒布可能パッケージが必要です。 これらがインストールされていない場合は、インストール時に4.5GBの容量が必要です。
ディスプレイ	1280 x 800以上の解像度を推奨 True Color (24ビット) 以上の色数
インターフェース	10/100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること。 ^{*4}

※1：本ソフトウェアは、Microsoft® Windows® 8.1, Microsoft® Windows® 10 のデフォルトのスタイルおよびフォントサイズ小 - 100%でデザインされています。デフォルトのスタイル、フォントで使用されることを推奨します。スタイルまたはフォントサイズを変更する場合は、十分ご注意ください。画面が正しく表示されない場合、フォントサイズ小 - 100%に変更してください。

※2：WOW64（32ビット互換モード）で動作します。

※3：デスクトップモードのみ対応します。

※4：PCのネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定していただく必要があります。

重要

- 本ソフトウェアのインストールおよび起動は、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールまたはインストールした管理者以外のユーザーが起動した場合の動作は保証いたしません。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPUやメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になる場合があります。負荷の高いアプリケーションと同時に使用しないでください。特に、以下のソフトウェアとは同時に起動しないでください。

IP 簡単設定ツール（カメラに付属のソフトウェア）

ASM100 シリーズ, ASM200 シリーズ, ASM300 シリーズ

- 使用するPCのユーザーアカウントに2バイト文字（全角文字）が含まれていると、インストールに失敗します。ユーザーアカウントには半角英数字を使用してください。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Core i5 は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
- Microsoft® Windows® 10 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 10 Pro 64ビット日本語版をWindows 10と表記しています。

著作権について

- 本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 機器からダウンロードした設定データなどのパソコンにおける消失、あるいは漏洩などによるいかなる損害、クレームなど

オープンソースソフトウェアについて

本ソフトウェアでは、以下のオープンソースソフトウェアを使用しています。

ソフトウェア名称	著作権	ライセンス名称
System.Data.SQLite	System.Data.SQLite	MS-PL

対応するライセンス条件の全文を以下に記載します。

Microsoft Public License (MS-PL)

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

1. Definitions

The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software.

A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license.

"Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

2. Grant of Rights

(A) Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.

(B) Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

3. Conditions and Limitations

(A) No Trademark License- This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.

(B) If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.

(C) If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

(D) If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license with your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.

(E) The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

個人情報保護について

本ソフトウェアを使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本商品を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本商品の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的にされていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール、FTPサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

もくじ

概要	1
システム構成図	1
取扱説明書について	2
必要なPCの環境	2
商標および登録商標について	3
略称について	3
著作権について	4
免責について	4
オープンソースソフトウェアについて	4
個人情報の保護について	5
ネットワークに関するお願い	5
もくじ	6
準備	7
インストールのしかた	7
アンインストールのしかた	8
接続する	8
起動する	9
オプション画面(本ツールの動作設定)について	11
操作	12
操作メニュー(ツールバー)について	12
機器の一括設定をおこなう	13
アイコンの説明	19
機器から設定内容とログをダウンロードする	20
設定ファイルを機器へアップロードする	21
ソフトウェアをバージョンアップする	23
レコーダー設定ツール/変換ツールを起動する	26
レコーダー設定ソフトウェア画面について	27
起動ユーザー情報を変更する	28
取扱説明書を表示する	29
その他	30
故障かな?	30
旧カメラおよび旧レコーダーをお使いの方へ	33
使用時の注意事項	34

準備

インストールのしかた

本ソフトウェアをインストールします。インストールはダイアログボックスの指示に従ってください。

重要

- インストール時にコピーされるファイルを編集、削除、移動しないでください。本ソフトウェアが正常に動作しなくなります。

1 PCにダウンロードする

2 「setup.exe」をダブルクリックする

インストールを開始するかどうか、確認画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックする

画面の指示に従ってインストールしてください。

標準設定でインストールすると、「C:¥Program Files¥Panasonic¥AdminConsole2」または「C:¥Users¥ユーザー名¥AppData¥Local¥Apps¥Panasonic¥AdminConsole2」にフォルダが作成され、本ソフトウェアのファイルがコピーされます。

インストールが完了すると、実行ファイルがスタートメニューに登録されます。

アンインストールのしかた

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の手順で操作します。

- 1 [コントロールパネル] - [プログラムと機能] をクリックする
「プログラムと機能」画面が表示されます。

-
- 2 [i-PRO システム 設定ツール 2] を選択し、[アンインストール] ボタンをクリックする
以降、画面の指示に従って操作します。

接続する

PCと機器を接続します。

接続のしかたについて詳しくは、機器の取扱説明書をお読みください。

起動する

- 1 スタートメニューの [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [i-PRO システム 設定ツール 2] - [i-PRO システム 設定ツール 2] をクリックする



本ソフトウェアが起動しログイン画面が表示されます。

重要

- インストール時にコピーされるファイルを編集、削除、移動しないでください。本ソフトウェアが正常に動作しなくなります。

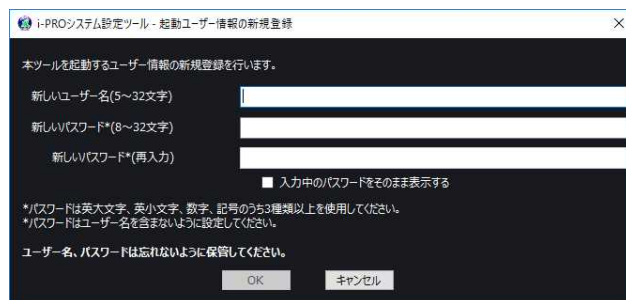
2 (2-1:本ソフトウェアの初回起動時のみ)

起動ユーザー情報の新規登録をおこなう

本ソフトウェアを使用するためのユーザー名、パスワードを設定してください。

重要

- 使用可能な「記号」は以下の通りです(ユーザー名、パスワード欄ともに共通です)。
! # \$ % () * + , . / < > ? @ [] ^ _ ` { | } ~
- ここで設定したユーザー名、パスワードは、本ツールの起動時に必要な情報となりますので、忘れないように保管してください。



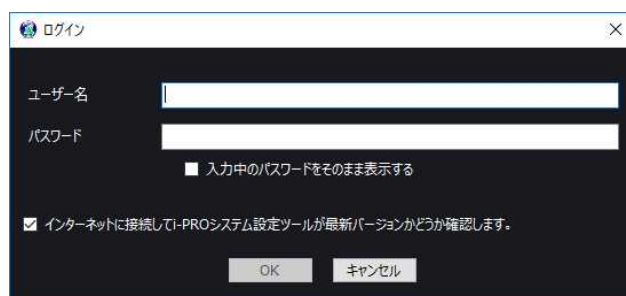
(2-2:本ソフトウェアの2回目以降の起動時)

ログイン画面において「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックする

初回起動時(手順 2-1)において設定したユーザー名、パスワードを正しく入力してください。

重要

- ユーザー名、パスワードは、セキュリティを確保するため、定期的に変更することをおすすめいたします。

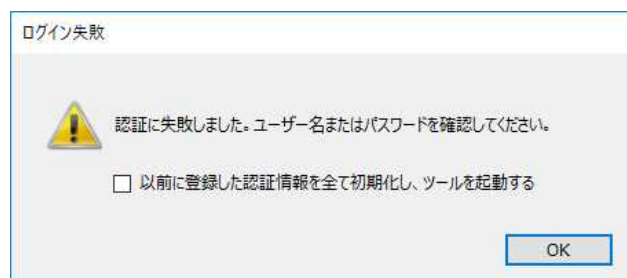


ログイン認証に3回以上連続して失敗した場合には、「以前に登録した認証情報をすべて初期化し、ツールを起動する」の選択肢(右図)が表示されます。

以前に設定した認証情報をどうしても思い出せない場合には、本選択肢にチェックを入れて[OK]を押下することで、初回インストール直後の状態に戻し、手順 2-1 を再度実行することができます。

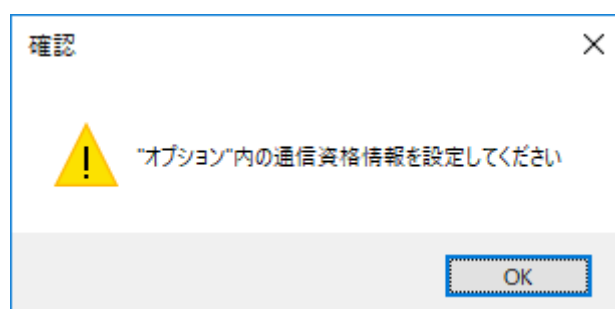
重要

- 本選択肢により本ソフトウェアの起動認証情報を初期化する場合には、本ソフトウェア内で設定している「機器との通信認証情報(資格情報)」についても、本ソフトウェアインストール直後の状態へと初期化されます。
- 起動認証に10回連続して失敗した場合には、いったん、本ツールの起動を中断します。再度起動を行ってください。



メモ

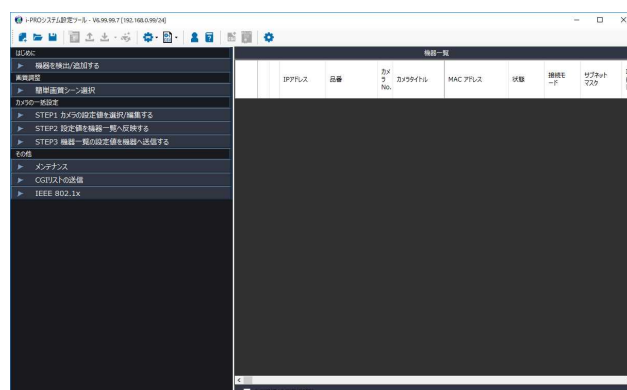
- 本ツールの初回起動時には、確認(右図)が表示されます。[OK]を押下し、各機器との通信に必要な認証設定を設定してください。(11ページ参照)



3 機器操作画面の表示

本ソフトウェアの起動認証に成功すると、続けて機器操作画面が表示されます。

本ソフトウェアの操作を終了するときは、画面右上の[×]ボタンをクリックします。



オプション画面(本ツールの動作設定)について

















項目タブ	内容
機器検出	<ul style="list-style-type: none"> 機器検出時間の設定：[機器検出]押下後の、機器応答待ち受け時間(初期値:5秒) PINGによるデバイス生存確認 機器との通信に先立ち、Pingコマンドによる機器生存確認をする/しない ND400の検出をする/しない、および検出範囲
認証設定	<p>機器との通信で使用する資格情報(ユーザー名、パスワード)を設定します。 機器グループ(カテゴリー)別に設定画面が分かれていますので、対象機器にあわせて適切な欄に入力を行ってください。</p>
通信	<ul style="list-style-type: none"> 同時実行処理数 ネットワーク帯域が狭いときは数を減らしての実行をお勧めします。 ネットワークアダプタの選択設定
保存場所	変更レポートの保存場所を選択します。
表示	機器一覧に表示する項目を選択します。
サイズ設定	JPEG静止画の取得サイズ、画角レポート表紙の文字数に関する設定を行います。
設定のアップロード	設定のアップロード操作に関するオプションを選択できます。
全般	<ul style="list-style-type: none"> 表示言語の選択 (選択結果は、次回のツール起動時より有効になります) 連携ブラウザの選択 起動画面の設定(選択結果は、次回のツール起動時より有効になります)

操作

操作メニュー（ツールバー）について

機器操作画面の上方に、機器の設定、あるいは本ツールの設定を行うためのツールバーが表示されます。うち、項番（3）および項番（6）については、機器一覧上でチェックボックスを有効（ON）操作した機器に対し、操作が行われます。



項番	項目	内容
(1)	バージョンおよびIPアドレス情報	本ソフトウェアのバージョン、および、PCのIPアドレス情報を表示します。
(2)		機器一覧情報を新規作成します (既に機器一覧情報が表示されている場合には、機器一覧情報が破棄されます)
		機器一覧情報ファイルを読み込みます
		現在表示されている機器一覧情報および設定メニュー情報を保存します
(3)		[カメラ画角レポート作成ウィザード] 対象カメラの静止面を取得し、カメラの撮像画角レポート(XPS[*xps]形式、およびExcel 2010以降対応[*xlsx])形式を出力します。作業記録文書（完成図書）作成としてお使いいただけます。
		[設定のアップロード] 設定ファイルを機器へアップロードします。
		[設定のダウンロードとログ取得] 機器から設定内容やログファイルをダウンロードして保存します。
		[ソフトウェアのバージョンアップ] 機器ソフトウェアのバージョンアップ操作をおこないます。
(4)		レコーダー設定ファイルの作成および編集を実行するツールです。
		レコーダー設定ファイルのテキスト変換を実行します。
(5)		[起動ユーザー情報の変更] 本ツールを起動するユーザー情報（ユーザー名およびパスワード）を変更します。
		取扱説明書を表示します。
(6)		[CGIリストの送信] 対象機器に対し、CGIリスト送信を実行することができます。CGIリストのサンプルについては「sample.txt」という同梱ファイルをご参照ください。
		カメラの802.1X設定(ユーザー名/パスワード設定 および CA証明書のインストール操作)を支援します。各設定項目の詳細については、各機器の取扱説明書をお読みください。
(7)		オプション画面（本ツールの動作設定画面）を表示します（→11ページ）

機器の一括設定をおこなう

重要

- 本ソフトウェアを起動すると、セキュリティの重要な警告画面が表示されることがあります。この場合は、[ブロックを解除する (U)] ボタンをクリックしてください。
- 電源投入後、約 20 分以上経過すると検出対象機器の MAC アドレス、IP アドレスが表示されないことがあります。
- カメラへの設定送信が完了するまでしばらくお待ちください。
- カメラが運用中のときは失敗することがあります。運用を止めてから再度実行してください。
- 特定の組合せは設定できません。詳細については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- 保存した機器一覧をテキストエディタなどで編集すると、読込に失敗することがあります。
- 複数の PC から本ソフトウェアを使って、同一の機器に同時にアクセスしないでください。機器にエラーが発生する場合があります。


1 [はじめに] 機器を検出または追加登録する

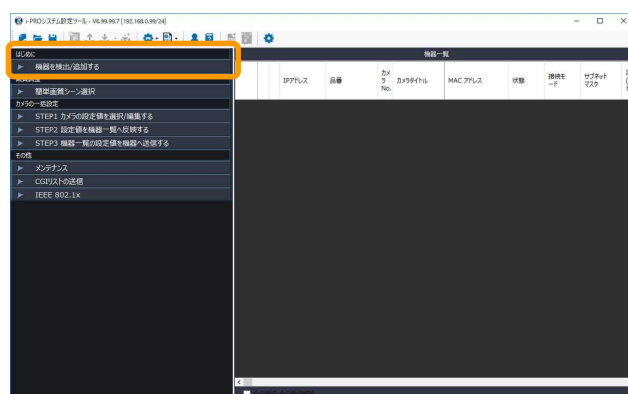
機器を検出/追加する

[検出] ボタンをクリックすると、同一ネットワークセグメント内にある対象機器を自動で検出し、機器一覧情報を作成します。

検出に失敗した機器がある場合、検出時間を延ばしてから再度実行してください。

メモ

- 検出時間を延ばしても自動検出できない場合は、機器を再起動し、スイッチとの接続、電源状態を確認してから[検出]ボタンをクリックしてください。
- HTTPS通信設定状態の機器については、品番欄に  のアイコンが表示されます。



[追加] ボタンをクリックすると、①他のネットワークセグメントにある対象機器の自動検出、あるいは、②オフライン状態機器の手動追加操作が可能です。

① IP 範囲指定による対象機器の自動検出

他のネットワークセグメント上も含め、指定した IP アドレス範囲において動作状態にある対象機器の検出を行います。

重要

- 対象機器までの通信経路において、PING コマンドが利用可能である必要があります。
- 対象機器までのセグメント接続数（ホップ数）は 3 以内である必要があります。
- アドレス範囲指定については、できるだけ狭い範囲で指定してください。必要以上に広い範囲を指定すると、検出に時間がかかります。

② オフライン状態機器の手動追加

機器の品番および IP アドレスを手動で指定し、機器一覧に登録することができます。下記の項目を設定してください。

- 機器の品番
- IPアドレス(開始、終了)
対象機器が1台だけの場合は、「終了」欄の指定を省略することができます

③ 機器との通信条件設定

①, ②の双方に共通の操作となります。下記の項目を設定してください。

- 機器との通信認証で用いるユーザー名/パスワード
- プロトコル種別(HTTP/HTTPS) および ポート番号

[削除] ボタンをクリックすると、機器一覧でチェックを入れた機器情報を一覧表から削除します。

追加

指定されたIPアドレス範囲に接続されている機器の自動検出を行います。機器情報を設定してください。
(※対象機器までのセグメント接続数[ホップ数]は3以内である必要があります。)

①

《IPアドレス範囲》
[例]192.168.0.*、192.168.0.10-20,192.168.0.10
(※アドレス範囲指定については、できるだけ狭い範囲で指定してください。必要以上に広い範囲を指定すると、検出に時間がかかります。)

オフライン状態の機器をリストに手動で追加します。機器情報を設定してください。

②

品番: S1132
IPアドレス(開始):
IPアドレス(終了):

資格情報(認証情報) | 接続方法/ポート番号

③

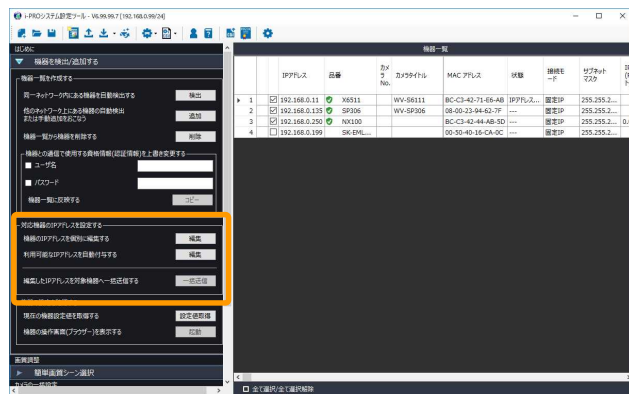
ユーザー名:
パスワード:
接続方法: HTTP: 80
 HTTPS: 443

設定 キャンセル

2 対象機器の IP アドレスを設定する

「機器の IP アドレスを個別に編集する」、「利用可能な IP アドレスを自動付与する」いずれかの [編集] ボタンをクリックすると、チェックを入れた機器のネットワーク設定編集画面が表示されます（必要に応じて、ネットワーク設定を変更します）。

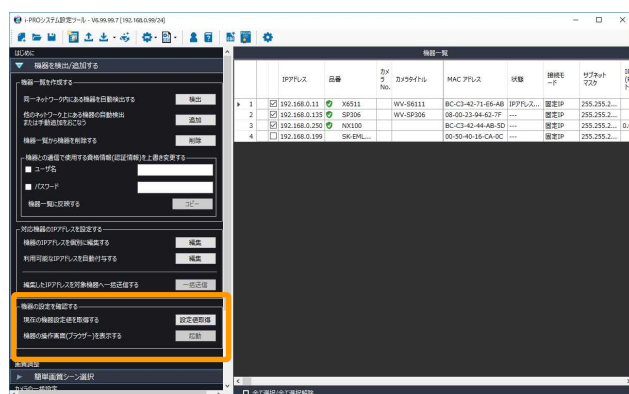
[一括送信] ボタンをクリックすると、編集した IP アドレスが機器に送信されます。



3 機器の設定を確認する

[設定値取得] ボタンをクリックすると、機器一覧でチェックを入れた機器から設定値を取得し、右の機器一覧情報表示へ反映します。

[起動] ボタンをクリック、または、機器一覧上で右クリック操作に続けて [機器の操作画面(ブラウザ)] を表示する]を選択すると、対象機器の操作画面(ブラウザ)を表示します。

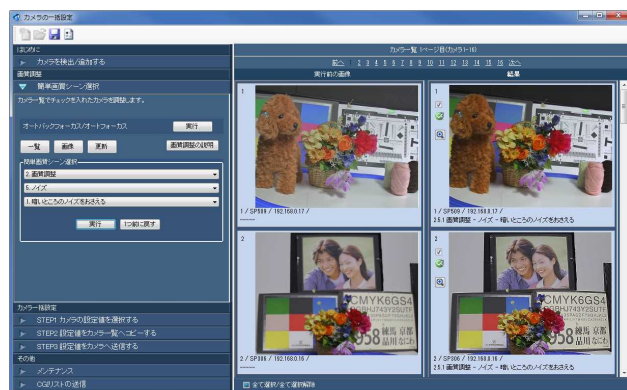
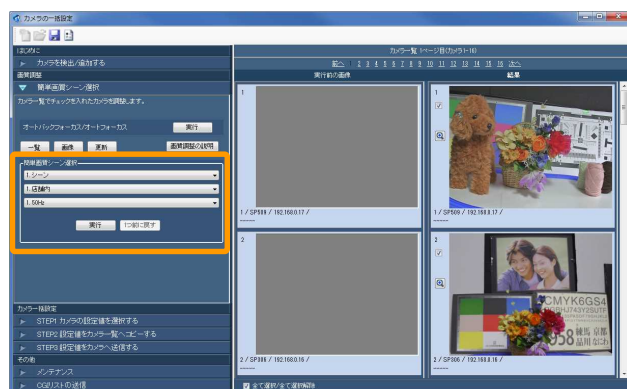


4 [画質調整]簡単画質シーン選択

設置場所に近い環境を選択、または、現在の画像の状態から画質を調整することができます。

[実行] ボタン、または、[1 つ前に戻る] ボタンをクリックすると、チェックを入れたカメラへ設定値を送信します。完了するまでしばらくお待ちください。

終了すると「実行前の画像/結果(実行後の画像)」が表示されます



[虫眼鏡] ボタンをクリックすると、画像を拡大して表示できます。

メモ

- [オプション]→[サイズ設定]メニューにより、JPEG静止画取得時の画像サイズを選択できます。

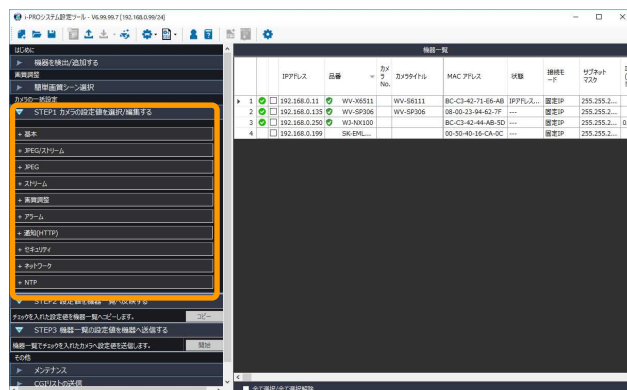
.....



5 [カメラの一括設定]

STEP1 カメラの設定値を選択する

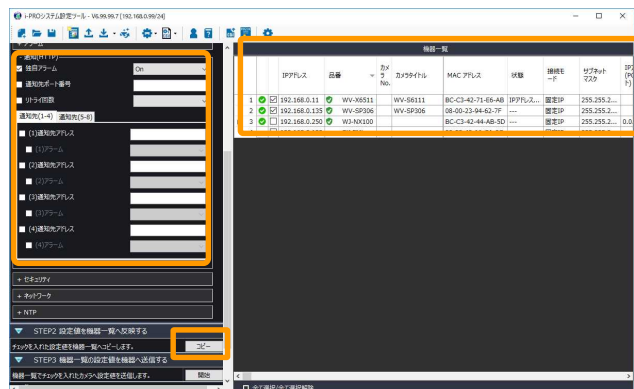
ラベルをクリックすると設定メニューが開きます。



STEP2 設定値を機器一覧へコピーする

[コピー] ボタンをクリックすると、STEP1 でチェックを入れた設定値選択内容を機器一覧へコピーします。

- 設定値は機器一覧でチェックを入れたカメラのみにコピーされます。
- 機器一覧へコピーされた値は太字表記に変わります。



メモ

- 設定値を機器一覧へコピーできない場合、メッセージ画面が表示されます。メッセージの内容に従い、設定値を修正してください。
- 各設定項目の詳細については、各機器の取扱説明書をお読みください。
- WV-X4171, WV-X4571L に対してスーパーダイナミックを On に設定すると、ワイドダイナミックレンジが On に設定されます。

[カメラの一括設定]

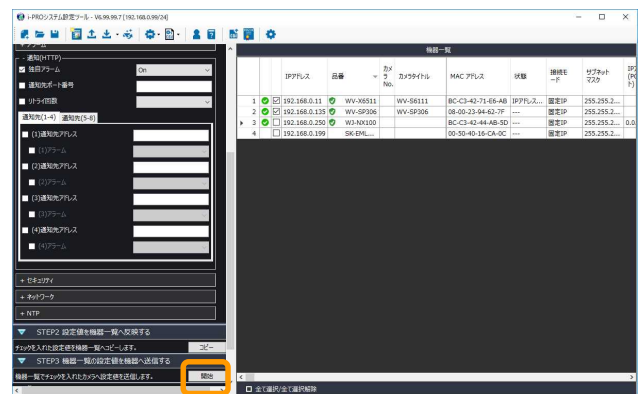
STEP3 設定値をカメラへ送信する

[開始] ボタンをクリックすると、機器一覧でチェックを入れたカメラへ設定値を送信します。完了するまでしばらくお待ちください。

終了すると完了画面が表示されます。

メモ

- 設定する項目の組み合わせによっては、一度の送信で全ての設定がカメラに受理されない場合があります。その場合は、再度設定を送信してください。

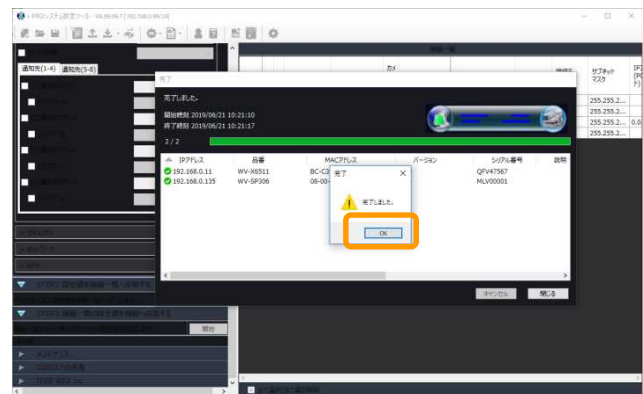


完了する

[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- カメラから取得した設定データや差分レポートが保存されます。保存場所はオプション画面で指定します。
- [開く] ボタンをクリックすると、保存した設定メニューファイルや機器一覧ファイルを開くことができます。
- [保存] ボタンをクリックすると、登録した設定メニューや機器一覧ファイルを保存することができます。



メモ

- XPS形式の利用について：Windows 10 バージョン1803以降を新しいデバイスにインストール(またはクリーンインストール)する場合には、XPSビューアを別途入手し、インストールする必要があります。詳細に関しては、マイクロソフトの公式サポートページをご参照ください。

アイコンの説明

項目	アイコン説明	
機器通信 全体共通		対象機器との通信開始順番待ち状態
		対象機器との通信を実行中
		対象機器との通信に成功した
		対象機器との通信に失敗した
機器管理者 設定状態		対象機器の管理者情報が設定済である
		対象機器の管理者情報が未設定である (管理者初期登録操作が必要な機器)
		対象機器の管理者設定状態が識別できない (通信前のために状態が取得できていない機器)
カメラの 一括設定		対象カメラの設定に成功した
		設定項目の中に対象カメラに受理されなかった項目がある (対象品番/ファームウェアの対応状況を確認してください)
メンテナンス		対象機器のメンテナンス設定/CGIリスト送信に成功した
フェイル オーバー		対象レコーダーはスレーブ設定(待機状態)で動作している
機器通信設定		HTTPS通信状態の機器 (HTTP通信状態の場合はアイコン表示なし)

機器から設定内容とログをダウンロードする

重要

- 処理が完了するまでしばらくお待ちください。
- 機器が運用中のときは、失敗することがあります。運用を止めてから再度実行してください。

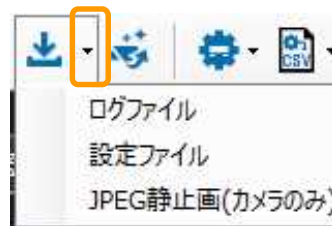
1 [設定のダウンロードとログ取得] をクリックする

対象となる機器を機器一覧上のチェックボックス操作で選択し、「設定のダウンロードとログ取得」アイコンをクリックしてください。

メモ

- アイコン右側の▼部を押下することで、次項2の操作を行うことなく、取得対象となる情報を直接指定することもできます。

.....



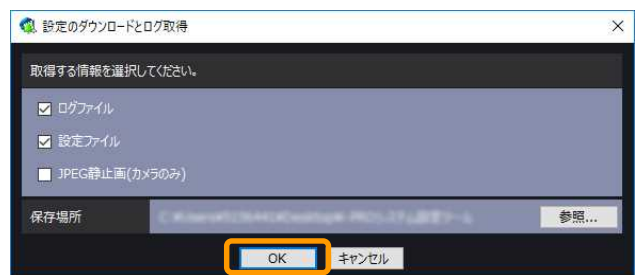
2 ダウンロードを開始する

取得対象情報を選択する選択画面が表示されます。取得対象となる情報を選択し、[OK]ボタンをクリックすると、ダウンロードを開始します。

メモ

- [参照] ボタンをクリックすると、保存対象のフォルダを変更指定することができます。

.....



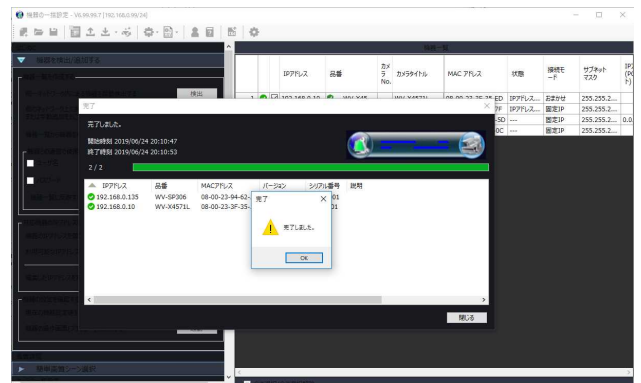
3 ダウンロードを完了する

ダウンロードが終了すると完了画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- 通信の結果/ログリストは取得した機器情報を保存した場所に保存されます。

.....



設定ファイルを機器へアップロードする

重要

- アップロードが完了するまで、しばらくお待ちください。
- 保存した設定ファイルをテキストエディタなどで編集すると機器へアップロードできなくなります。
- 複数の PC から本ソフトウェアを使って、同一の機器に同時にアクセスしないでください。機器にエラーが発生する場合があります。
- 機器が運用中のときは、アップロードできません。

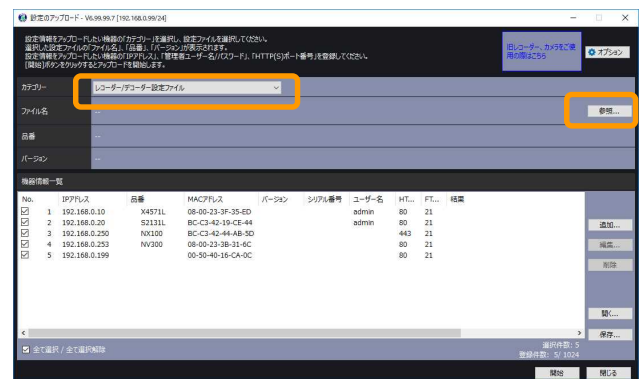
- 1 「設定のアップロード」をクリックする
選択画面が表示されます。



- 2 設定ファイルの情報を表示する

設定情報をアップロードする機器の「カテゴリー」を選択し、[参照] ボタンのクリックしに続けて「ファイルを開く」画面で対象となる設定ファイルを選択してください。

選択した設定ファイルの「ファイル名」、「品番」、「バージョン」が表示されます。



メモ

- 設定ファイルをアップロードする場合、機種によって選択するファイルが異なります。詳細は、別紙「機器別設定項目一覧(PDFファイル)」をご確認ください。

3 必要に応じて機器を追加登録する

[追加] ボタンをクリックすることで、機器リスト上にない機器を追加操作することができます。右図の登録画面が表示されますので、対象機器の下記項目を設定してください。

- IPアドレス(開始、終了)
- 対象機器との通信認証情報(ユーザー名/パスワード)
- HTTP/HTTPSポート番号
- FTPポート番号

メモ

※1 選択した設定ファイルに載っているユーザー名、パスワードを設定することをお勧めします。

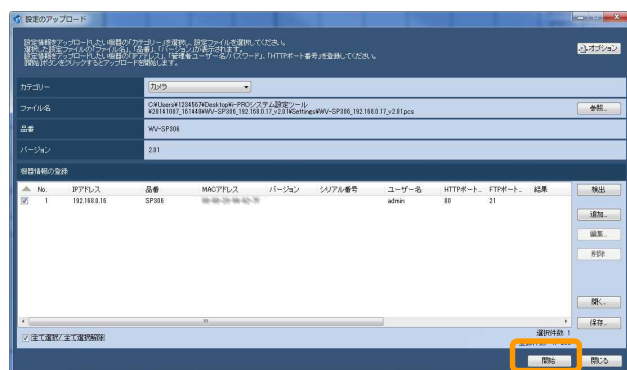


4 アップロードを開始する

[開始] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロードが完了すると、完了画面が表示されます。

メモ

- [保存] ボタンをクリックすると、一覧表示上の機器情報を保存できます。
- [開く] ボタンをクリックすると、設定のダウンロードとログ取得、設定のアップロード、ソフトウェアのバージョンアップで保存した機器情報ファイルを開けます。

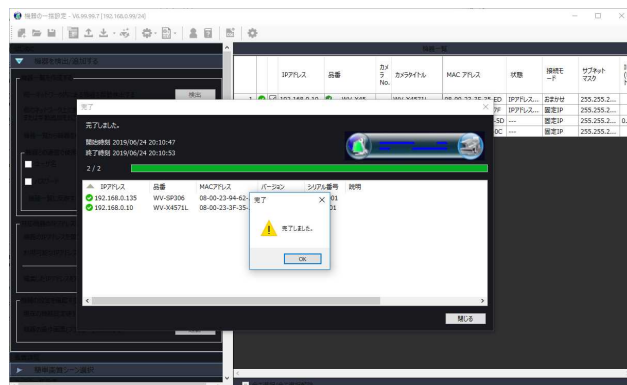


5 アップロードを完了する

[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- “デスクトップ¥i-PROシステム設定ツール”に実施した日付の結果/ログリストは保存されません。



ソフトウェアをバージョンアップする

重要

- バージョンアップが完了するまでしばらくお待ちください。
- バージョンアップ用ソフトウェアの保存ディレクトリーは、半角英数字で指定してください。
- 複数の PC から本ソフトウェアを使って、同一の機器に同時にアクセスしないでください。機器にエラーが発生する場合があります。
- 機器が運用中のときは、バージョンアップできません。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のファイルを使用してください。

- 1 ソフトウェアのバージョンアップをクリックする
ソフトウェアのバージョンアップメニューが表示されます。



(ソフトウェアのバージョンアップ)

重要

- 「ソフトウェアのバージョンアップ」側で独自に追加/削除/編集した情報については、「ソフトウェアのバージョンアップ」内でのみ有効となります。

- 2 バージョンアップの方法を選択する

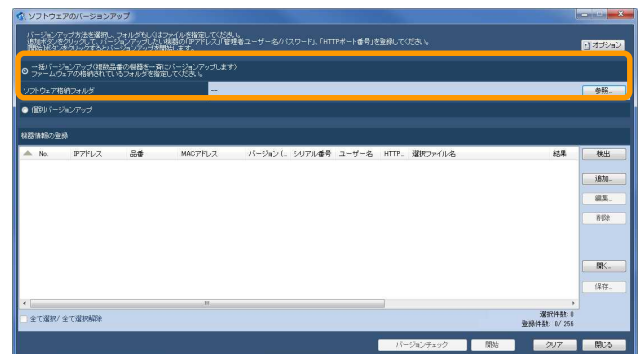
- 「一括バージョンアップ」を選択した場合

[参照] ボタンをクリックします。

「フォルダの参照」画面でソフトウェア(ファームウェア)の格納されているフォルダを選択してください。

重要

- カメラのアプリケーションソフト「***.img」とドライバーソフト「***.bin」を同時に一括バージョンアップする場合は、当社Webサイトからダウンロードしたフォルダ構成にて実施してください。正常に動作しない場合がありますので必ず上記ファームウェアの組み合わせでご使用ください。



重要

- 一括バージョンアップでは、2段階でのファームウェアのバージョンアップを自動で行います。当社Webサイトからダウンロードしたフォルダ構成にて実施してください。正常に動作しない場合がありますので必ず上記ファームウェアの組み合わせでご利用ください。2段階でのファームウェアのバージョンアップが必要な機種^{※1}の場合、一括バージョンアップのご利用をお勧めします。

※1 SP509/SW559/SF539 : V1.30 より前のバージョンを V1.40 以降へバージョンアップする場合
SW458/SF438 : V1.04 より前のバージョンを V1.40 以降へバージョンアップする場合

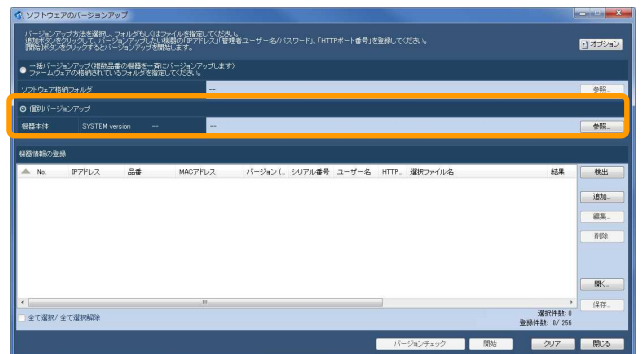
• 「個別バージョンアップ」を選択した場合

バージョンアップ用ソフトウェアの情報を表示します。

「参照」ボタンをクリックします。

「ファイルを開く」画面でソフトウェアを選択してください。

選択したソフトウェアの「ファイル名」、「品番」、「バージョン」が表示されます。



3 必要に応じて機器を追加登録する

詳細は、「設定のアップロード」章の手順説明を参照してください。

追加

手動で追加する機器情報を設定してください

IPアドレス(開始) IPアドレス(終了)

資格情報(認証情報)

ユーザー名

パスワード

接続方法/ポート番号

HTTP: 80 FTP: 21

HTTPS: 443 TELNET: 23

設定 キャンセル

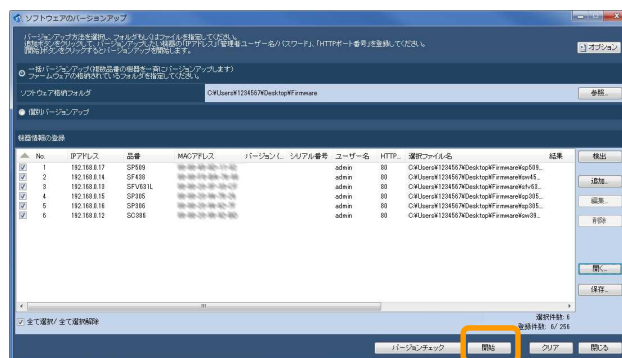
4 バージョンアップを開始する

[開始] ボタンをクリックすると、バージョンアップを開始します。

バージョンアップが完了すると、完了画面が表示されます。

メモ

- [バージョンチェック] ボタンをクリックすると、登録した機器からバージョンなどの情報を取得し、一覧に表示できます。
- [保存] ボタンをクリックすると、登録した機器情報を保存できます。
- [開く] ボタンをクリックすると、設定のダウンロードとログ取得、設定のアップロード、ソフトウェアのバージョンアップで保存した機器情報ファイルを開けます。

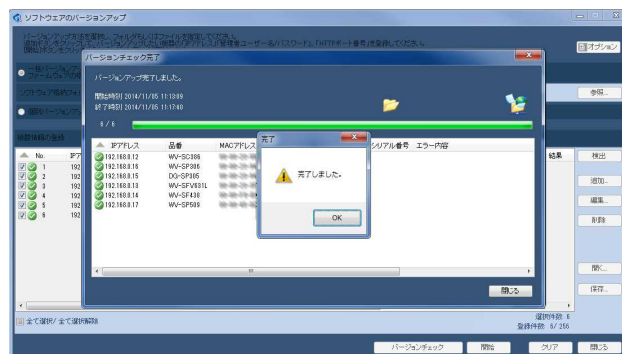


5 バージョンアップを完了する。

[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- 実施した日付の結果/ログリストは、デスクトップ上の “i-PROシステム設定ツール” フォルダ内に保存されます。



レコーダー設定ツール/変換ツールを起動する

レコーダーの設定ツール、もしくは、レコーダーの設定ファイル変換ツールを起動します。

1 「レコーダー設定ファイルの作成と編集」の起動

アイコン押下に続き、「設定するレコーダーの品番」、「バージョン」を選択すると、選択した機器の編集ソフトウェアが起動します。

＜対応レコーダー品番＞

NX400/NX300/NX200/NX100、
NV300/NV250、
ND400、HD616/HD716

各設定項目の詳細については、機器の取扱説明書をお読みください。

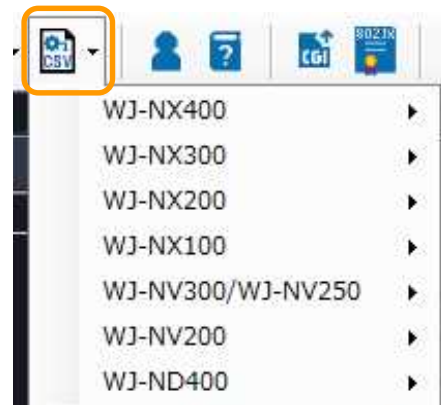


2 「レコーダー設定ファイルのテキスト変換」の起動

アイコン押下に続き、レコーダー品番および変換後の言語を選択し、対象となるレコーダー設定ファイル(.bin)を選択し、[OK] ボタンを押下することで、選択したレコーダー設定ファイルをテキストデータ(.csv)に変換します。

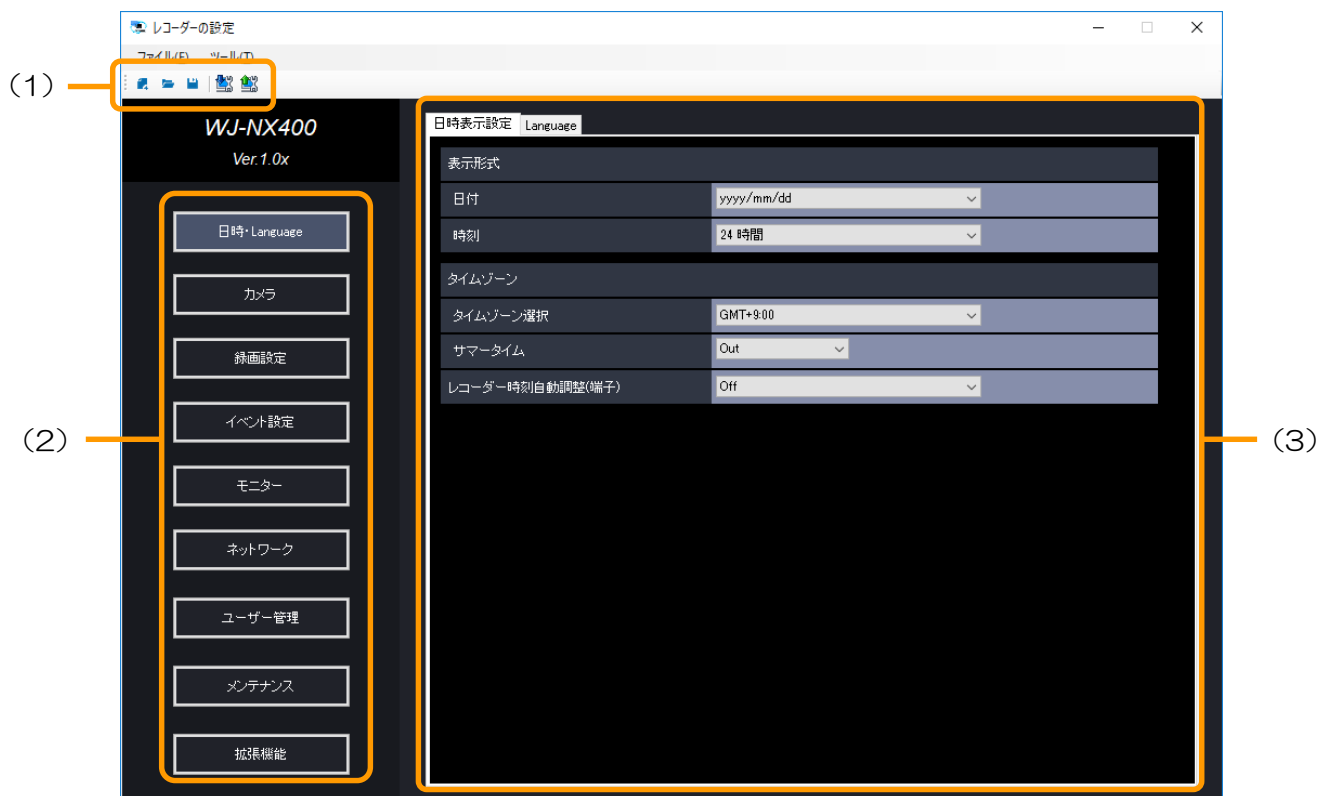
＜対応レコーダー品番＞






NX400/NX300/NX200/NX100、
NV300/NV250/NV200、ND400



レコーダー設定ソフトウェア画面について

「レコーダーの設定ツール」をクリックすると表示される画面です。以下に画面と項目について説明します。ここでは、NX400の設定画面を例に説明します。



項番	項目	内容
(1)	ツールバー	
	 新規作成	設定ファイルを新規作成します。
	 開く	保存した設定ファイル、または、機器からダウンロードした設定ファイルを開きます。
	 保存	設定内容を保存します。
	 ダウンロード	機器から設定ファイルをダウンロードします。
	 アップロード	設定ファイルを機器へアップロードします。
(2)	メニューボタン表示エリア	レコーダーのカテゴリメニューボタンを表示します。
(3)	各設定画面表示エリア	メニューで選択した機能の設定画面を表示します。

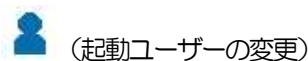
メモ

- 各設定項目の詳細については、機器の取扱説明書をお読みください。

起動ユーザー情報を変更する

本ツールを起動するユーザー情報（ユーザー名 および パスワード）を変更します。

- 1 **「起動ユーザーの変更」をクリックする**
起動ユーザー情報の変更画面が表示されます。

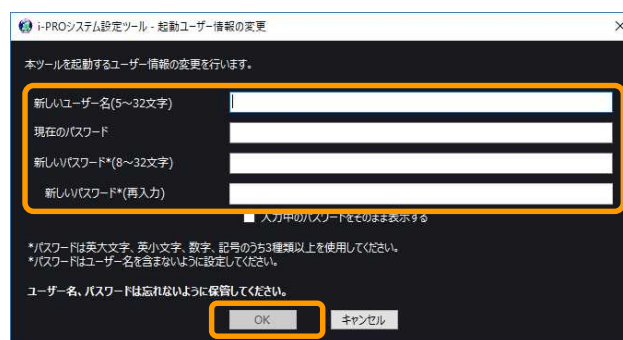


- 2 **起動ユーザー情報を変更する**
「新しいユーザー名」、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード(再入力)」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- ユーザー名は半角英数記号5～32文字で設定してください。
- パスワードは半角英数記号8～32文字で設定してください。
- 使用可能な「記号」は以下の通りです
(ユーザー名、パスワード欄ともに共通です)。
! # \$ % () * + , . / < > ? @ [] ^ _ ` { | } ~

.....



取扱説明書を表示する

1 [取扱説明書] をクリックする

本書と機器別設定項目一覧が表示されます。



(取扱説明書の表示)

メモ

- スタートメニューの [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [i-PROシステム 設定ツール2] - [i-PROシステム 設定ツール2]からも本書を表示できます。

.....

その他

故障かな？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

症状	原因・対策	参照ページ
本ソフトウェアから 機器にアクセスできない	▶ <ul style="list-style-type: none">ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-TXケーブルが接続されていますか？接続されているか、確認してください。	—
	▶ <ul style="list-style-type: none">機器の接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	—
	▶ <ul style="list-style-type: none">有効なIPアドレスが設定されていますか？システムの管理者にご確認ください。	—
	▶ <ul style="list-style-type: none">間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？次の方法で接続を確認してください。ping “機器のIPアドレス” を実行し、機器からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IPアドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	—
	▶ <ul style="list-style-type: none">設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？システムの管理者にご確認ください。	—
	▶ <ul style="list-style-type: none">設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していませんか？同一サブネット内に機器とクライアント（PC）が接続されている場合、機器とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。ネットワークアダプタにLANケーブルが正しく接続されていない、あるいはHUBの電源が入っていないなどの理由により、アドレスが不定の状態ではありませんか？ケーブル接続が正しいこと、ケーブルに損傷がないこと、対象機器へPINGが通ることなどを確認してください。	—

症状	原因・対策	参照ページ
IP アドレスを検出、または、設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● 機器を起動してから20分以上経過していませんか？ セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると機器のMACアドレス、IPアドレスが検出されなくなり、設定することができません。 → 機器を再起動し、スイッチとの接続、電源状態を確認してから[開始]ボタンまたは[更新]ボタンをクリックしてください。機器の再起動の方法は、各機器の取扱説明書をご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより、機器のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → UDP、HTTPの全ポートに対してアクセスを許可してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● 同一サブネット内にカメラ、レコーダー、スイッチ、運用PC以外の機器は接続されていませんか？ → カメラ、レコーダー、スイッチ、運用PC以外を取り外してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● 不良のネットワークケーブルを使用している可能性があります。 → ネットワークケーブルを交換してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● DHCPサーバーが存在しない環境でカメラの設定をDHCPモードにすると、設定が反映されない場合があります。 → DHCPサーバーを稼働させるか、固定モードへの変更をお願いします。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ● 変更前と変更後が同じ内容で設定をおこなうと、エラーメッセージが表示される場合があります。 → 変更内容がない場合のメッセージですので、そのまま作業を継続してください。 	—

症状	原因・対策	参照ページ
ログインできない	<ul style="list-style-type: none"> 正しいパスワードを入力していますか？パスワードを確認してください。 パスワードを忘れた場合は、パスワードの再設定をおこなってください。 	10ページ
本ソフトウェア起動時にインストーラーが起動する。または再インストールが必要というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本ソフトウェアインストール時にコピーされる初期ファイルが削除または移動、編集された可能性があります。 画面の指示に従って再インストールするか、またはアンインストールしてから、再インストールしてください。 ZIPファイルを完全に展開せずに内容を参照した状態ではありませんか？ ZIPファイルを完全に展開したうえで、“setup.exe”を実行してください。 Visual C++パッケージのインストールに失敗する場合は、Windowsシステムにおいて最新のパッチが適用済みであることを確認してください。 	—
「設定のアップロード」操作に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 対象となるフォルダが正しく選択されていること、また、フォルダ内のファイルがバックアップ時と同一であることを確認してください。 	—
「設定のダウンロード」あるいは「ログ取得」の操作に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> PCから対象機器までのルートにおいて、PINGが遮断されている可能性があります。「オプション」設定内の「PINGによるデバイス生存確認」をOffにして再試行ください。 PCから対象機器までのルートにおいて、FTP / TELNETが遮断されていないことを確認してください。 	—
GXD300 の保守(設定のアップロード/設定のダウンロード/ログ取得/ソフトウェアの更新)操作に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> GXD300の設定画面を操作中に、本ツールからの保守操作を実行しようとしていませんか？ →GXD300の設定画面をいったん終了し、時間をおいて本ツールからの操作を再度実行してください 	—

旧カメラおよび旧レコーダーをお使いの方へ

ソフトウェアのバージョンアップ、設定のアップロードメニューにおいて、旧レコーダーや旧カメラをご使用の際は、以下のボタンをクリックして、IBi-PROシステム設定ツールをご使用ください。



使用時の注意事項

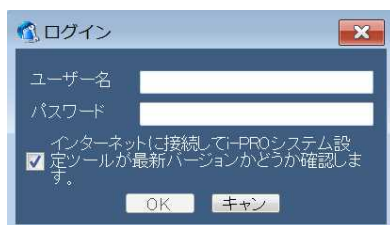
Windows をお使いの場合に、本書に記載の現象が発生することがあります。現象が発生した場合には、各対処方法に従って操作してください。なお、本書には、管理者アカウントの場合の対処方法を記載しています。

- 本書に記載の内容は、弊社にて動作確認を行った結果に基づいております。ご使用のPC環境・OSの更新その他により現象が異なる場合があります。

以下に現象ごとの対処方法および制限事項を説明します。

< 現象1 >

- 本ソフトウェアを起動すると、画面が正しく表示されない場合がある。(下図参照)



対処方法

- [コントロールパネル] の [ディスプレイ] にて画面の文字サイズを確認してください。大きな文字サイズに設定されている場合は「小-100%(s)」に設定してください。

1 [コントロールパネル] - [ディスプレイ] をクリックする

「ディスプレイ」画面が表示されます。

2 文字サイズを「小-100%(s)」に設定し、ログオフします。

パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号

i-PROシステム設定ツール

～ 管理者初期情報の登録手順 ～

2016年 4月 初版
2020年 2月 改訂

パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社

【はじめに】管理者情報の登録手順 <概要説明>

以下のステップを順次実行していきます。手順詳細については各項内の記載をご参照ください。

Step 1 ネットワーク設定の実施 (IPアドレス等を設定し、各機器にアクセスできるようにします)

IP簡単設定ソフトウェア
または
i-PROシステム設定ツール



ネットワーク設定



Step 2 i-PROシステム設定ツールによる「機器一覧」情報取得 (各機器の「状態」を知る)

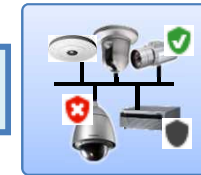
i-PROシステム
設定ツール

「機器一覧」情報表示

	IPアドレス	品番	カメラタイトル	MACアドレス	状態
1	192.168.0.31	SPN	WV-SPN	08-00-23-...	---
2	192.168.0.53	SPN	WV-SPN	08-00-23-...	---
3	192.168.0.123	BB-	NetworkCamera	00-80-F0-...	---
4	192.168.0.135	GXE			---
5	192.168.0.150	M8e			---

管理者設定済
管理者未設定...

機器情報取得



Step 2 において
「管理者未設定機器」が
検出された場合のみ*

*状態を一意に検出できない場合を含む(本文参照)

Step 3 「管理者情報の入力」と、機器への「送信」反映

i-PROシステム
設定ツール

「管理者情報」
入力画面

管理者登録
(送信)

対象機器



「機器一覧」
更新表示

設定結果取得





【Step 1】機器のネットワーク設定をおこなう



管理者設定に先立ち、「機器のネットワーク設定(IPアドレス等)が完了し、各機器にPCから直接アクセスできる状態」になっていることが必要です。

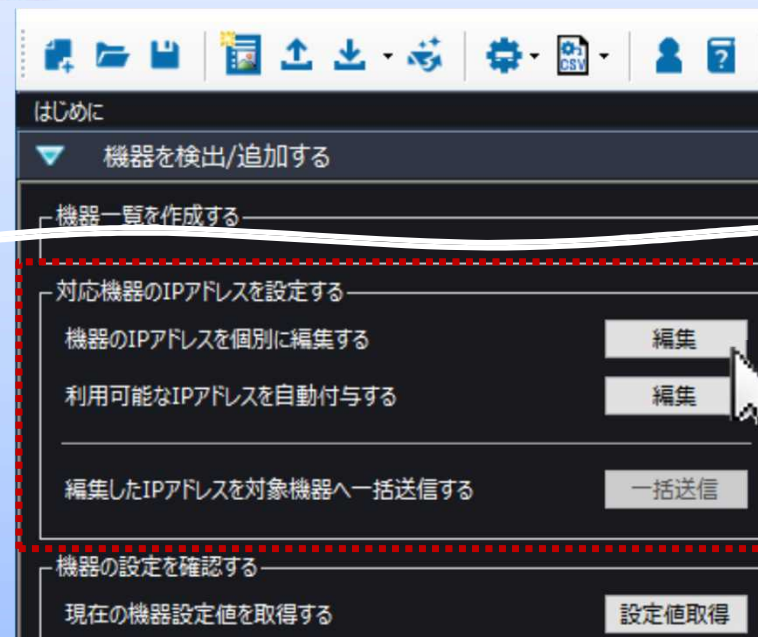
- ・ネットワーク未設定の場合 ⇒ 普段からお使いの下記ツールを活用して設定を行ってください
- ・ネットワーク設定済の場合 ⇒ Step 2 記載の手順へ進んでください



IP簡単設定ソフトウェアの
(EasyIpSetup.exe)
「ネットワーク設定」メニュー



i-PROシステム設定ツールの
「IPアドレスを設定する」メニュー



【メモ】

- ・IPアドレス設定の具体的手順については、各々の説明書/ヘルプ等を参照してください。
- ・本書では「カメラ/レコーダー/SDレコーダー/ネットワークマイク/エンコーダー」を総称して「**機器**」と呼びます

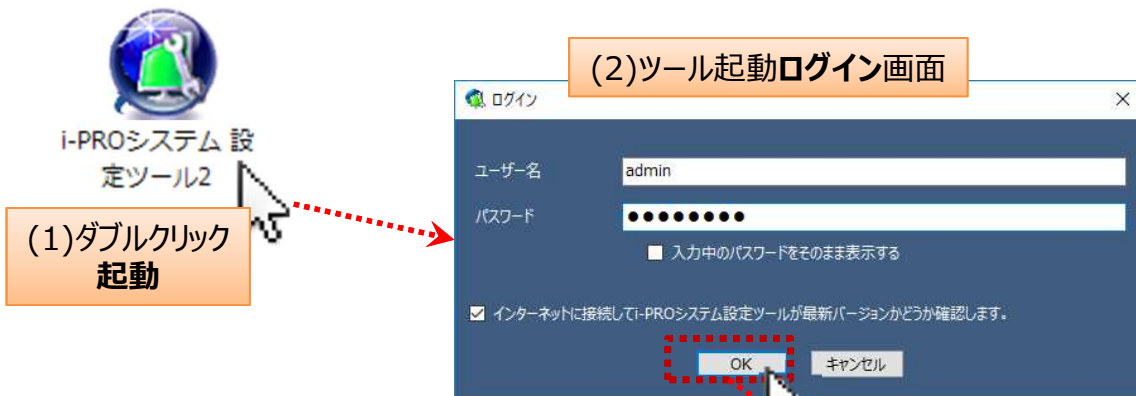
ネットワーク設定が終了したら、Step 2に進んでください

【Step 2】「機器一覧」情報の取得 ～各機器の「管理者設定状態」を知る～

Step 2 「機器一覧」情報の作成(1/4) ～システム設定ツール起動～

「i-PROシステム設定ツール(Ver.5.6以降)」を使い、機器の「管理者設定状態」を取得します。
以下の手順①～⑤を順次実行してください。

手順①：「i-PROシステム設定ツール2」⇒「機器の一括設定」メニューを起動する



(1)ダブルクリック
起動

(2)ツール起動ログイン画面

ログイン

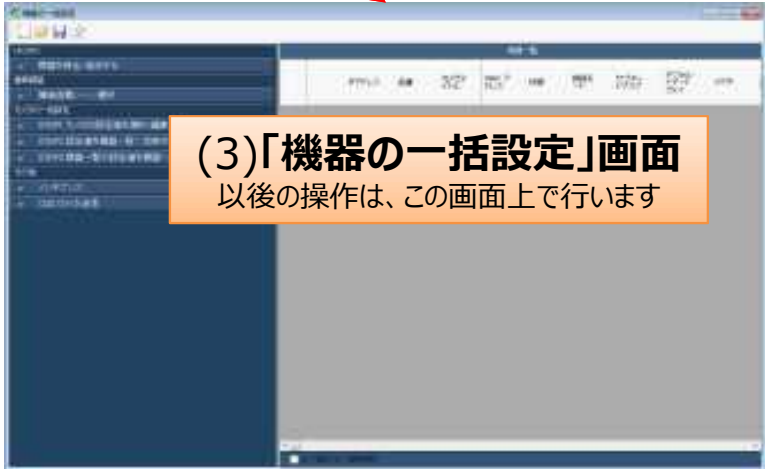
ユーザー名 admin

パスワード ●●●●●●

入力中のパスワードをそのまま表示する

インターネットに接続してi-PROシステム設定ツールが最新バージョンかどうか確認します。

OK キャンセル

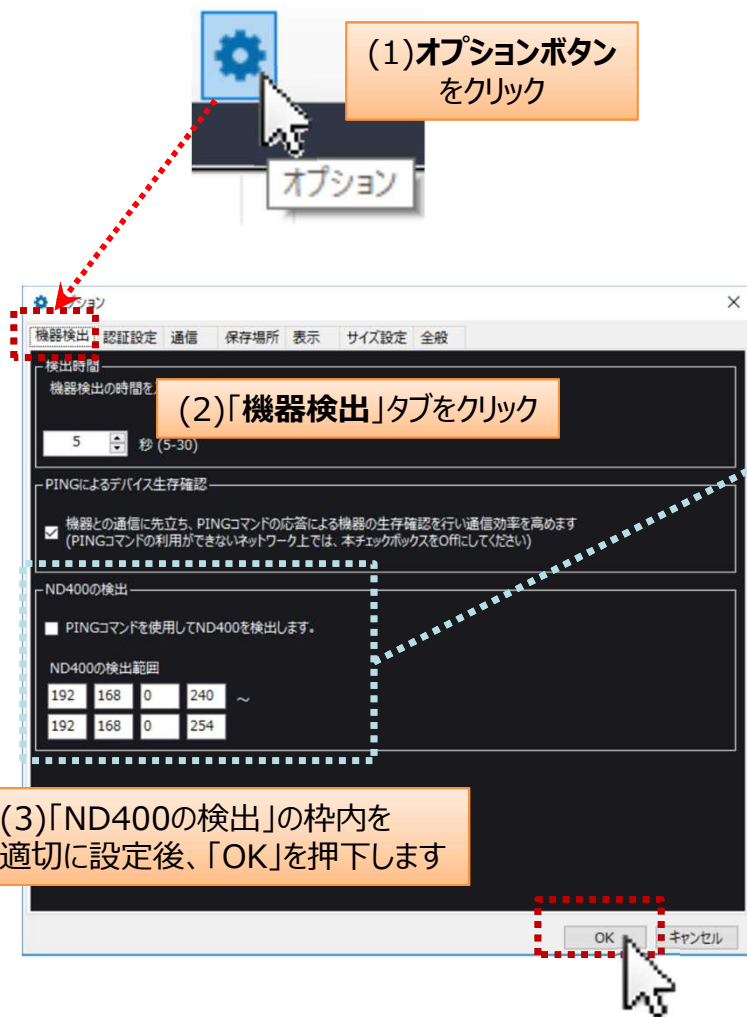


(3)「機器の一括設定」画面
以後の操作は、この画面上で行います

Step 2 「機器一覧」情報の作成(2/4) ～ND400の検出設定～

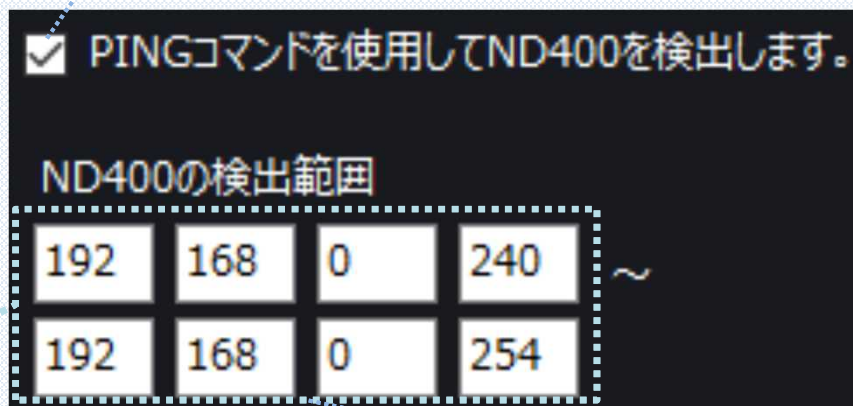
対象機器に「ND400」を含まない場合は、本ページ(手順②)をとばして 手順③に進んでください

手順②：(ND400が存在する場合のみ)「ND400検出設定」を有効にする



設定のポイント

ポイント1: チェックボックスを有効 にしてください



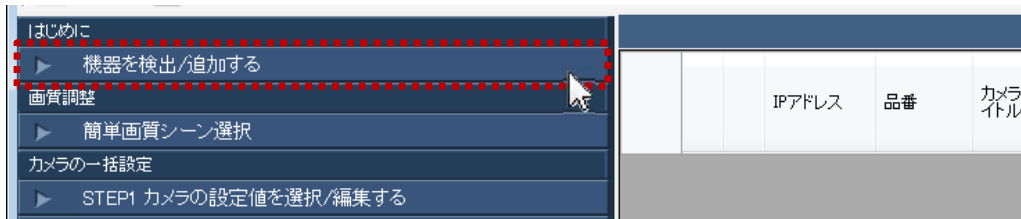
ポイント2: ND400のIPアドレス(Step 1で設定済)を検出範囲に含むように指定します
(ツールはこの範囲のND400を検出していきます)

【メモ】

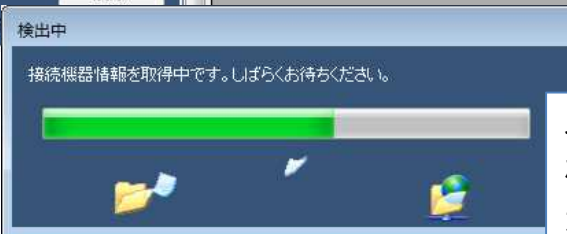
・「検出範囲」については、なるべく狭い範囲で指定してください
(必要以上に広い範囲を指定すると、手順④に時間がかかります)

Step 2 「機器一覧」情報の作成(3/4) ～機器状態を取得する

手順③：【機器を検出/追加する】をクリックする



手順④：【検出】ボタンをクリックすると、ネットワークに接続された機器が自動検出されます



ネットワーク上の機器を自動的に検索し、検出された「機器一覧」情報がリスト形式で表示されます(次ページで説明)




【メモ】




- ・ND400が正しく検出されない場合は、手順②(前ページ)の設定を再度確認のうえ、再度、手順③以降を実行してください



Step 2 「機器一覧」情報の作成(4/4) ～機器一覧情報の見方～

手順⑤：「機器一覧」の表示を確認します

機器一覧							
		IPアドレス ▲	品番	カメラタイトル	MAC アドレス	状態	
1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.31	✓ SPN115A	WV-SPN115A	08-00-23-...	---	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.53	✗ SPN115A	WV-SPN115A	08-00-23-...	---	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.123	● BB-HCM531	NetworkCamera	00-80-F0-...	---	
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.135	GXE		00-80-45-...	IPアド	
▶ 5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.150	M8e		00-50-40-...	---	

「機器一覧」の「品番」欄に、各機器の管理者登録状況がアイコン(  )で表示されます

-  : 機器の管理者情報が設定済である
-  : 機器の管理者情報が未設定である (管理者初期登録が必要な機器)
-  : 管理者状態が識別できない機器 (HCM7xx/5xx ならびに 情報取得前の機器)
- (アイコン表示無し) : 既存のデバイス

 または  の機器については、自動的に「管理者初期登録が必要」(チェックボックス=ON)と判断され、続いて「管理者初期登録メニュー」(→Step 3)が起動します

管理者設定を必要とする機器が1台も存在しない場合(全てが  または アイコン無し)は、ここで終わりです

【Step 3】「管理者初期登録」の実施

～管理者未登録機器 に 管理者設定を行う～

Step 3 「管理者初期登録」の実施(1/2) ～入力画面の説明～

また、の機器が存在する場合は、自動的に「管理者の初期登録」メニューが開きます(下図)

管理者の初期登録

管理者未登録の機器があります。管理者の設定を行ってください。

■ 入力中のパスワードをそのまま表示する

カメラエンコーダー/SDカードレコーダー/ネットワークマイク

①

- カメラ i-PROシリーズ
- カメラ 新BBシリーズ
- エンコーダ GXEシリーズ
- SDカードレコーダ
- ネットワークマイク

レコーダー(NXシリーズ)デコーダー

③

- レコーダー
- NXシリーズ
- デコーダー
- GXD300

BB-HCM7xx/5xx

②

- BB-HCM7xxシリーズ
- BB-HCM5xxシリーズ

レコーダー(NVシリーズ)ND400

④

- レコーダー
- NVシリーズ
- ND400

登録対象となる機器の全てにチェックが入っていることを確認してください。大文字、小文字を区別して入力してください。

ユーザー名、パスワードは忘れないように保管してください。

送信 キャンセル

手順1:①～④ 各々の枠内に記載されたルール(文字種、文字数)に従って「ユーザー名 / パスワード / パスワード再入力」欄に入力してください。
(入力ルールを満たした場合は、入力枠がピンク→薄緑色へと変化します)

【メモ】

①～④各欄に該当する機器がない場合は、①～④の当該欄が入力不可(グレーアウト表示)となります

Step 3 「管理者初期登録」の実施(2/2) ～設定値の送信～

手順2:①～④欄の入力が適切に完了したら、「送信」を押下し、機器に設定を反映します



【メモ】

管理者初期登録対象機器については「機器一覧」上のチェックボックスが有効()である必要があります
→通常は自動判別により「 」となっていますが、「送信」押下前に再度「機器一覧」表示をご確認ください

手順3:「機器一覧」情報表示上で、機器への設定結果を確認します

1	<input type="checkbox"/>	192.168.0.31	<input checked="" type="checkbox"/>	SPN	WV
2	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.53	<input checked="" type="checkbox"/>	SPN	WV
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.0.123	<input checked="" type="checkbox"/>	WV-IC	Net
4	<input type="checkbox"/>	192.168.0.135	<input type="checkbox"/>	GXE	
5	<input type="checkbox"/>	192.168.0.150	<input type="checkbox"/>	M8e	

管理者初期登録を必要とする機器がなくなったら (全てが または アイコン無し) 、一連の設定は完了です

設定した内容(ユーザ名/パスワード)を絶対に忘れないよう、厳重に管理してください

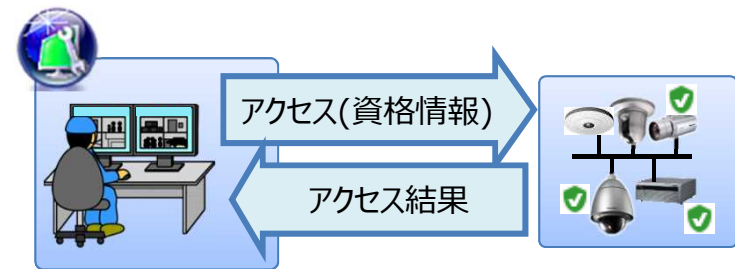


【補足】管理者初期登録後の 「i-PROシステム設定ツール」操作

《概要》 ツール⇔機器通信における「資格情報」について

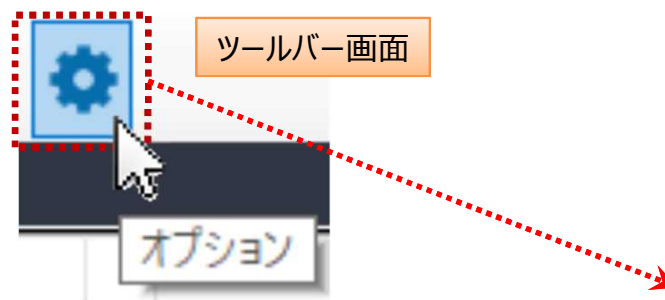
はじめに

ツール⇔機器の通信には、ツール上の「資格情報」と、機器登録済の「機器管理者情報」が一致する必要があります
(「資格情報」とは、機器管理者ログイン資格である「ユーザ名/パスワード」の総称です)



【メモ】資格情報が不一致の場合、機器との通信に失敗し、エラーメッセージが表示されます

設定の概要



「オプション」→「認証設定」タブから
適切な資格情報設定を行ってください
(詳細については次ページ以降を参照)

The screenshot shows the 'オプション' (Options) dialog box with the '認証設定' (Authentication Settings) tab selected. The dialog contains several sections for configuring credentials for different device types:

- カメラ/エンコーダー/SDカードレコーダー/ネットワークマイク: ユーザー名: admin, パスワード: ●●●●●●
- レコーダー(NXシリーズ)/デューター: ユーザー名: admin, パスワード: ●●●●●●
- レコーダー(NV/ND/HDシリーズ): ユーザー名: ADMIN, パスワード: ●●●●●●
- BB-HCM7xx/5xx: ユーザー名: adminadmin, パスワード: ●●●●●●
- その他: ユーザー名: manager, パスワード: ●●●●●●

At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A note at the bottom states: 【重要】上記で設定した資格情報(認証情報)については、次回以降の通信でも継続的に使用されます。設定時と異なるネットワークシステムに接続する場合には、前回接続内容の資格情報漏洩を避けるため、ネットワーク接続に先立ち適切に再設定を行ってください。

資格情報の設定(“オプション”メニュー)

機器グループ(カテゴリー)別に設定画面が分かれていますので、対象機器にあわせて適切な欄に入力を行ってください。

ツールバー画面



手順1:「オプション」を選択します

手順2:「認証設定」タブをクリックします

オプション

機器検出 認証設定 通信 保存場所 表示 サイズ設定 全般

機器との通信で使用される資格情報(認証情報)を設定する

カメラ/エンコーダー/SDカードレコーダー/ネットワークマイク

カメラ
SDカードレコーダ
ネットワークマイク

ユーザー名 admin ①
パスワード ●●●●●●

レコーダー(NXシリーズ)/デコーダー

レコーダー(NXシリーズ)
デコーダー

ユーザー名 admin ②
パスワード ●●●●●●

レコーダー(NV/ND/HDシリーズ)

レコーダ
NV/NDシリーズ

ユーザー名 ADMIN ③
パスワード ●●●●●●

BB-HCM7xx/5xx

BB-HCMシリーズ

ユーザー名 adminadmin ④
パスワード ●●●●●●

その他

ユーザー名 manager
パスワード ●●●●●●

【重要】上記で設定した資格情報(認証情報)については、次回以降の通信でも継続的に使用されます。設定時と異なるネットワークシステムに接続する場合には、前回接続内容の資格情報漏洩を避けるため、ネットワーク接続に先立ち適切に再設定を行ってください。

手順3:資格情報を入力し、[OK]を押下します

OK キャンセル

参考:「管理者初期登録」との関係

管理者の初期登録

管理者未登録の状態があります。管理者の設定を行ってください。

■ 入力中のパスワードをそのほかに表示する

カメラ/エンコーダー/SDカードレコーダー/ネットワークマイク

ユーザー名(1~32文字) ①
パスワード(8~32文字) ②
パスワード再入力

カメラは英大文字、英小文字、数字、記号の4種類以上を使用してください。
パスワードはユーザー名と重複しないようにしてください。

レコーダー(NXシリーズ)/デコーダー

レコーダ(NXシリーズ)

ユーザー名(1~32文字) ③
パスワード(8~32文字) ④
パスワード再入力

カメラは英大文字、英小文字、数字、記号の4種類以上を使用してください。
パスワードはユーザー名と重複しないようにしてください。

レコーダー(NV/ND/HDシリーズ)

レコーダ(NV/NDシリーズ)

ユーザー名(5~15文字) ①
パスワード(8~15文字) ②
パスワード再入力

カメラは英大文字、英小文字、数字、記号の4種類以上を使用してください。
パスワードはユーザー名と重複しないようにしてください。

レコーダー(NXシリーズ)/デコーダー

レコーダ(NXシリーズ)

ユーザー名(5~14文字) ③
パスワード(8~14文字) ④
パスワード再入力

カメラは英大文字、英小文字、数字、記号の4種類以上を使用してください。
パスワードはユーザー名と重複しないようにしてください。

進捗 キャンセル

【メモ】ここで入力した「資格情報」は、新たに「検出」ボタンを押下するタイミングで実際の通信に反映されます。
【重要】この入力情報は次回以降も**継続的に使用**されます。設定時と**異なるシステムに接続**する場合には、**前回通信時の資格情報漏洩を避ける**ため、新たなネットワーク接続に先立ち適切に**再設定**を行ってください。

資格情報の一時的な上書き変更（機器の一括設定）

手順1: 機器一覧を作成します

「機器を検出/追加する」→「機器一覧を作成する」のメニューを使います

はじめに

▼ 機器を検出/追加する

機器一覧を作成する

ネットワーク内の機器を検出する

5 秒(5-30)

機器を手動で追加する

機器一覧から機器を削除する

機器との通信で使用する資格情報を変更する

ユーザ名

パスワード

機器一覧に反映する

		IPアドレス	品番	カメラタイトル	ユーザ名	パスワード
1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168	SP		admin	*****
2	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168	SM		admin	*****
3	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168	SP		admin	*****
4	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168	M8		manager	*****
5	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168	NV		ADMIN	*****

機器毎の資格情報



手順3: 「資格情報を変更する」内で、必要な情報を入力し、「コピー」を押す

手順2: 「資格情報」の設定対象とする機器を選択します

「全てを選択」するには
ウインドウの一番下にある
 全て選択/全て選択解除
を使います

手順4: ユーザ名、パスワードが
手順3の入力内容を反映し、
変化していることを確認します

【メモ】

- ・一時変更したい「資格情報」が機器ごとに異なる場合は、手順2～4を必要に応じ繰り返し実行してください。
- ・機器一覧のタイトル部分をクリックすることで、一覧表のソートが可能です
- ・本ページの方法で一時的に上書きした「資格情報」は、「機器の一括設定」終了時に破棄されます。
必要に応じて、「機器一覧」の保存()/読み込み()をご活用ください